

【担当教員名】		対象学年	3	対象学科	作業・社会
大杉 祐一		開講時期	前期・後期	必修・選択	選択
小嶋 麻紀		単位数	6	時間数	90
【概要】					
<p>精神保健福祉論は、精神保健福祉士養成課程指定科目のなかで中心的な位置づけを与えられている。</p> <p>この授業では、はじめに障害者福祉に共通して理解しておくべき理念および施策、実践的課題について学び、次にそれを土台にして精神障害者の諸課題への理解を深める。</p>					
【学習目標】					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害者福祉の理念と意義を再確認する。</li> <li>・精神障害者福祉の歴史と理念を理解する。</li> <li>・精神障害者の人権について理解を深める。</li> <li>・精神保健福祉士の理念と意義について理解する。</li> <li>・精神障害者に対する相談援助活動の基本を習得する。</li> <li>・精神保健福祉法、精神保健福祉士法等精神障害者に関する法律の意義と内容を理解する。</li> <li>・精神保健福祉施策の概要を理解する。</li> <li>・精神保健福祉の関連施策について理解を深める。</li> </ul>					
回数	授業計画又は学習の主題				学習方法・学習課題
1～6	障害者福祉の理念と意義	障害者福祉の理念、障害および障害者、障害者福祉の基本施策、現代社会と精神障害者			講義
7～10	精神障害者福祉の歴史と理念	精神保健福祉と精神障害者、精神保健福祉の歴史と理念、精神保健福祉の現状			講義
11～14	精神障害者の人権	精神障害者の権利、精神医療における権利擁護、地域社会における精神障害者の人権			講義
15～18	精神保健福祉士の理念と意義	精神保健福祉士の意義、精神保健福祉士の対象、精神保健福祉士の専門性と倫理			講義
19～24	精神障害者に対する相談援助活動	精神障害者を取り巻く社会的障壁、精神障害者の主体性の尊重 相談援助活動の方法、相談援助活動の事例			講義
25～28	精神障害者に関する法律	精神保健福祉法の意義と内容、精神保健福祉士法の意義と内容 関連法について			講義
29～36	精神保健福祉施策の概要	精神保健福祉行政、精神保健福祉に関する行政組織、公費負担制度 精神保健福祉施策の課題、社会復帰施策、地域生活支援など			講義
37～42	精神保健福祉の関連施策	医療保険制度、雇用・就労、所得保障、経済負担の軽減 生活環境の改善			講義
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書		改訂 精神保健福祉論	精神保健福祉士養成セミナー編集委員会編	へるす出版	2001 3800円
参考書		適宜紹介する。			
その他の資料		適宜プリントを配布する。			
【評価方法】			【履修上の留意点】		
定期試験、レポート、出席状況など			<p>真に精神保健福祉について学ぶ意欲を持つ学生のみが履修すること。</p> <p>授業計画、学習方法、評価方法などは変更することがある。その場合は授業の初めに説明するので、注意すること。</p>		